
every day

風雲

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

every day

【Nコード】

N4728BA

【作者名】

風雲

【あらすじ】

多々何気ない日々をすごしていたあの日、謎の少女にあつてから3人の日常は変わった・・・
現れる敵、謎の少女、死神、悪魔、幽霊、妖怪・・・
そんなまか不思議の物語が今・・・始まる

わけもなく

普通のように普通じゃない、キャラが濃いようで濃くもないそんなわけの分からない奴らが繰り広げるそんな毎日を書いた小説です

「ナレーターがいるんだけどそいつ時々イラったこと言うてるぞ」

ちよ、何言ってるの!?

「俺、アイツ嫌い」

え、ひどい・・・!!

プロローグ（前書き）

「ナレーターがいます、それがイヤだって人は見ないほうがいいかもしれません」

「ナレーター時々イラってくること言います」

「それでも見てやるって方は」

「「「見てやってください！！」」「」」

プロローグ

「あー、うん題名が英語だからって別にSFとかファンタジーとかそういう小説じゃないんでそこ、勘違いしないよーに」

「？何言ってるんだ東くひがし」

「だまれ北くきた」

いきなりどこかに話しかけたのは東と呼ばれた少女・・・東雲 東くしののめ あずま>は不思議に思ったらしく東に話しかけた少年・
・北縞 北人くきたじま ほくと>は言葉の暴力を受け沈んだ
ちなみに東くしがし>と北くきた>はあだ名である

北はハーフなので金髪で見た目がまるでヤンキーなのだししかも目つきも悪いためもつとヤンキーと間違われていつもケンカをふっかけられる

いつもケンカをふっかけられるからからといってケンカが強いわけではないというか弱い、力も弱いしメンタルも弱い、握力15あるのかってくらい弱いてか15もないような気がする

だが一方東はこれといった特徴はなく普通の女の子だ

だが口悪いし、オタクで結構Sだ

え？これでもう特徴あるじゃんって？いやいやいや、考えてくださいよ自分の周りにそんな感じの人いませんか？オタクってことを抜いたら結構いるんじゃないですか？私はいます

「誰も聞いてないぞナレーター」

・・・さて、話に戻りますが北は教室の隅でのの字を書いています

そして東は青筋を浮かべて今にもキレそうです

ん？ああ、周りのクラスメイトですか？まるつきり無視です

視界になんていれてないようです

関わりたくないんでしょうね、わかります

まあ、このまま2人をほっておくわけもいかなないのでそろそろ3人

目の登場人物に・・・

「はぁ・・・やめろよ」

お、いましたね

この少年が西村 西<にしまら せい>あだ名は・・・言わなくてもいい？まぁ、分かるでしょうね。もちろんあだ名は西<にし>です

西も特徴はないですがなぜか惚れやすくいつも女の子にフラレまくってます

あ、あと

「・・・いい子ぶってんのかよ」

「ああ？」

「いい子ちゃんは引つ込んでろっていつてんの」

「表出るや」

「望むところじゃいボケエエー！」

東とよくケンカします

でもちゃんと友達です

よく・・・というより毎日一回のペースでケンカはあります

このケンカが始まるとみんな教室の隅に避難しましょう

西がおもむろに机を掴み

ガッ

東の方へ机を投げたのだ

「あたらねーよ」

そういつて東は余裕そうに机を避けて近くにあったイスを掴んだ

ガッ

もちろんそれを西に投げる

避ける、投げる、避ける、投げる・・・

これでわかっていただけただろうかこの中にいたらかすり傷だけではすまないのである

一歩間違えば大怪我をするかもしれないのだ

「このオタク野郎！！」

「あんだと女好きのくせしやがって!!」

「ああ? テメエよりはましだ」

「はあ? 二次元のほうがいいに決まってるだろうが!!」

「ぷー、うわぁ脳まで侵食されたんでしゅかぁ?」

「死ねピーーーーーー野郎!!」

「ピーーーーーーが」

「……自主規制まで入ってきて収集が付かなくなってきた
ガラガラガラ

おっと、誰かが入って……

ガッ

「……あ」

「……どうやら東が投げた花瓶が入ってきた人物にぶつかってその人物はびしょびしょに濡れてしまったようだ

その人物が誰なのかを確認すると東と西の顔がどんどん青ざめていった

「おまえらアアアアアアア」

「……先生、大丈夫ですか」

近くにいた北がかわいそうな物を見るような目で聞いてきたのが恥ずかしかつたのかプルプルと震えて

「東雲! 北縞! 西村! お前ら廊下に立ってろぉぉぉぉぉぉお
お」

「俺関係ないですよぉぉぉぉお」

とまあこの小説は変人共の毎日を描いた物語である

「セリフ取られたアアアアアアア」

「黙って廊下に立てエエエエエエエ」

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4728ba/>

every day

2012年1月12日22時50分発行